

- 4) ClairvivoPET (島津)
「島津製作所製小動物用 PET 装置の使用経験」
島津製作所医用技術部 岩田 祐士
- 5) Explore Vista DR (GE)
「GE 製小動物用 PET 装置の使用経験」
京都大学大学院薬学研究科 天満 敬
- 6) MIP-100 (住友重機械工業)
「住友重機械工業社製小動物用半導体 PET の使用経験」
大阪大学医学部核医学講座 高沢 正志

3:40～
休憩 10 分

3:50～

4. 動物ハンドリングの実際 (座長 外山 宏) 60+30 分
ーラット、マウスの固定、麻酔、無麻酔下 PET、SPECT スキャンを中心にー

- 1) 「SPECT-MRI 融合画像用共通ベッドを用いた撮像」
国立がんセンター東病院 藤井 博史
- 2) 「ラット脳循環代謝に及ぼす各種麻酔の影響」
浜松医科大学分子イメージング先端研究センター 山口 博司
- 3) 「マウスを用いた無麻酔下 PET イメージング法の確立」
理化学研究所 分子イメージング科学研究センター 水間 広
- 4) 「覚醒ラットを用いたドーパミンアゴニスト [11C]MNPA の PET 測定:覚醒下と ketamine-xylazine 麻酔下の比較」
放射線医学総合研究所 分子イメージング研究センター 徳永 正希

5:20～

5. 次回以降について (間賀田泰寛) 10 分